

<本省本部の折衝報告>

出張所の統廃合など 官房長交渉発言の再確認！

国土交通省管理職ユニオンは、4月11日（金）に、出張所の統廃合、諸手当、地理院の処遇などの官房長交渉発言の再確認をするとともに、管理職特別勤務手当などの案件について、本省の森川調査官他四名と折衝を実施しました。

□出張所の統廃合

た。

ユニオンは、『出張所が統廃合されて何も良くなっていない。仕事は事務所に移っただけで、現場に行けなくなり技術力が低下していくだけである。窓口も遠くなり行政サービスも低下する。急に出張所を廃止すると、地元不信にもつながり、地元はないがしろにされたと感じる。廃止の発表から3ヶ月では、廃止のための準備が間に合わないため、現場は混乱する。』との意見を述べましているのに、災害対応の最前

それに対して当局は、『行政ニーズや社会の必要性など、組織全体として考えていかなければならない。出張所が不要という訳ではなく、現場の最前線であり重要な役割を担っていると考えているが、総合的に判断した結果、これが最適との判断となった。ユニオンのご意見は伺った。』との回答でした。

また、『テックフォースが活躍して増員となっているのに、災害対応の最前

国土交通省
管理職ユニオンニュース

No.392

2025 年 5 月 15 日

【発行】

国土交通省管理職
ユニオン

【所在地】

東京都千代田区
霞ヶ関2-1-2 中央
合同庁舎2号館
TEL 03-3509-1138

【Email】

k-union@alpha.ocn.ne.jp

【ホームページ】

http://www.k-
unionnetwork/

線である出張所が減るのはおかしいのではないか』との意見に対しては、『廃止出張所だけを見たらそう見えるかもしれないが、組織全体を見て、災害対応することで、その時々の最適を考えるのであって、場当たり的ではない。』『人員は確保していきたいと考えているところで、定員は全体的に増加しているところである。』と回答しました。

その他、『事務所レベルでは増えているように感じない。ぎりぎりの仕事をしており、新人育成も難しいところである。また、やめていく人が多く、特に若い人の離職が多い。』との意見に対しては、『ギャップが出ないようにしたり、研修等を充実させたりしている』と回答しました。

□管理職の処遇

『管理職職員も働きやすいように改善してほしい。管理職の役割も増えている。管理職手当の改善を要望していると聞いているが、改善の見込みはあるのか。寒冷地手当の対象事務所が明らかにおかしい。隣接事務所なのに1カ所だけ出していない。』との追求に対しては、『職場の実態を人事院に話している。問題意識をもって人事院に話している。』との回答でした。

(裏面につづく)

<第28回定期大会>
5月24日(土)
9時30分～16時30分

(表面よりつづく)

□地理院の処遇

『国土地理院の管理職手当が低いが、人事院にそのことを伝えていいのか。人事院に聞いても「聞いていない」と言われている。』との追求に関して、当局からは、『地方整備局と単純に比較できるものではない。地理院も含めて全体として上昇するような考え方で人事院に要求している。』との回答でした。

□管理職特勤

『8項目の業務が対象となっていた。職場に周知されていない。』との意見に対して、当局からは、『個別なものは適切に対応したい。考え方を変えた訳ではない。周知・運用等適切に対応する。』との回答でした。

新時代の人事管理を実現するための具体的施策 (1)

使命感を持って意欲的に働ける公務

- ✓ 「国家公務員行動規範」の策定と周知・啓発
 - ① 「国民を第一」に考えた行動
 - ② 「中立・公正」な立場での職務遂行
 - ③ 「専門性と根拠」に基づいた客観的判断

年次に縛られず実力本位で活躍できる公務

- ✓ 官民給与の比較対象となる企業規模の引上げ
- ✓ 政策の企画立案・調整等の職務に見合った外部労働市場も考慮した給与水準の設定
- ✓ 納得感と成長につながる評価の実効性向上とマネジメント力の養成
- ✓ 初任管理職の給与水準の引上げ／在級期間の廃止

新時代の人事管理を実現するための具体的施策 (2)

働きやすく成長を実感できる公務

- ✓ 業務効率化と長時間労働の改善
- ✓ 短時間勤務の拡大と裁量勤務の導入
- ✓ 資格取得の支援や兼業・副業の後押し
- ✓ 転勤する職員へのインセンティブの充実

多くの人から「選ばれる」公務

- ✓ オンライン試験の導入／採用プロセスにおけるインターンシップの活用
- ✓ 地元志向のニーズに応える採用スキーム
- ✓ 公務の戦略的ブランディングの推進
- ✓ 公務内外の人材に魅力的な公務の実現